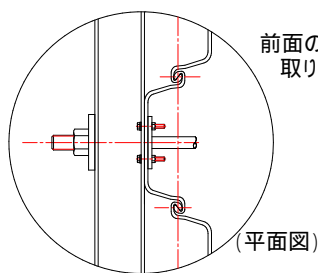
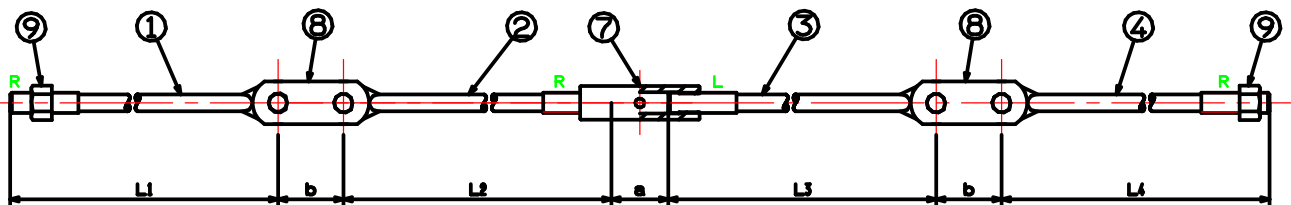


タイロッド取り付け方法

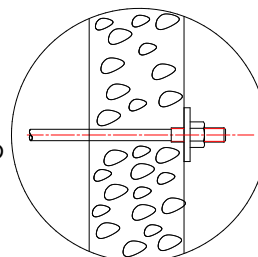
1. 前提条件 : 4本継ぎの場合

4本継ぎのタイロッド



前面的本体ナットの
取り付け参考図
(平面図)

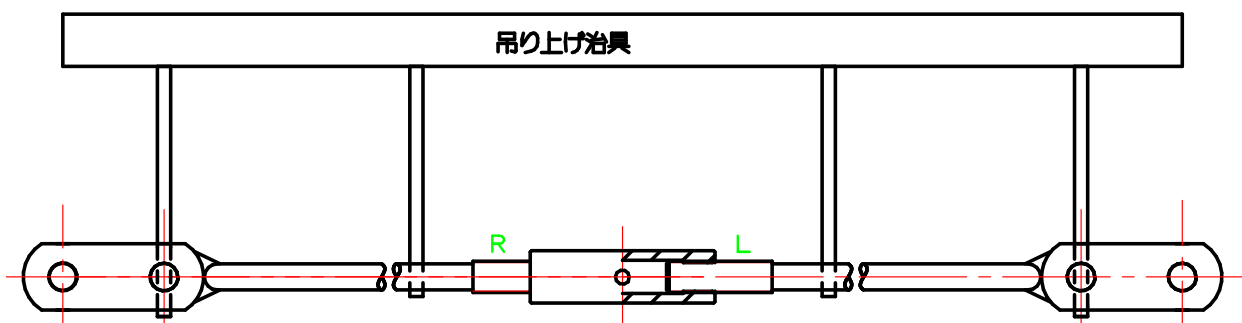
控え工側の本体ナットの
取り付け参考図



(平面図)

2. 取り付け方法

- (1) ロッド を前面の鋼矢板に本体ナットで取り付ける。
- (2) ロッド を控え工側の鋼矢板に本体ナットで取り付ける。
【取り付け方法】
a) ロッドネジ部に損傷を与えないよう、ロッドを水平にして鋼矢板の穴へ通す。
b) 通したロッドネジ部を本体ナットで締め付けて、取り付けますが、ネジ山は本体ナット外面より3山以上出すこと。
この時、ネジ部の保護材は、取り付け直前まで取ってはならない。
- (3) ロッド 、ロッド と付属品(ターンバックル、リングジョイント)を陸上で組み立てる。
【取り付け方法】
a) ロッド 、ターンバックル、ロッド の順番で置き、ロッド とロッド を平行にしてターンバックルの軸芯に合わせ、ターンバックルを両手で回転させて取り付け。
この時、ターンバックルにネジ込むネジ部の長さは、ロッド 、とも、本体ナットの直径以上とする。
b) ロッド のリング部を二つのリングジョイントで挟み込むように合わせ、ジョイントピンでとめる。リングジョイントのもう一方の穴は、まだ、とめないでおく。ロッド も同じ方法でリングジョイントを取り付ける。
この時の注意点は、リングジョイントが上下に回転できるようにしておく。
- (4) 付属品(ターンバックル、リングジョイント)を取り付けて組み立てたロッド とロッド を、吊り具を使って施工場所へ運ぶ。



- (5) 前面の鋼矢板に取り付けられたロッド と、運ばれてきたロッド を接続する。
【取り付け方法】
a) 前面の鋼矢板に取り付けられたロッド のリング部を、ロッド の二枚のリングジョイントで挟み込むように合わせてジョイントピンでとめる。
b) 控え工側の鋼矢板に取り付けられたロッド のリング部を、ロッド の二枚のリングジョイントで挟み込むように合わせてジョイントピンでとめる。

(注意点) タイロッドは、原則として鋼矢板法線に対して直角に取り付ける。(4度以上の傾斜はノーである。)
- (6) タイロッドの取り付けが完成したならば、前面及び控え工側の本体ナットと、ターンバックルで、タイロッド全体にわたって均等な張力が加わるように調整する。但し、最後の調整は、ターンバックル又は控え工側のナットで行う。

3. 遵守事項

- (1) 前面及び控え工側の鋼矢板に取り付けたロッド 、ロッド のネジ山は、本体ナットの外面から3山以上出るように取り付け。
- (2) ターンバックルにネジ込むネジ部の長さは、ロッド 、とも、本体ナットの直径以上とする。
- (3) タイロッドに取り付けるリングジョイントは、リングジョイントが上下に回転できるようにしておく。
- (4) 最後の調整は、ターンバックル又は控え工側のナットで行う。